

卒業研究		演習	教授 小関広洋
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21300401

1. テーマ

企業経営に関する諸問題の研究

2. ゼミのねらい・概要

各メンバーが、3年次の専門ゼミで習得した基礎知識を応用し、それぞれの問題意識に基づいて積極的に研究テーマに取り組み、卒業論文を完成させることをねらいとする。

卒業論文の作成を通じて論理的な思考方法と表現力を習得し、あわせて卒業後、社会人として役立つ実践的な能力（経営企画・人事・経理・財務・マーケティング・営業など）も身に付けられるよう指導する。

なお、希望するメンバーには、実務関連資格（FP 技能士や証券アナリストなど）の取得の指導も行う。

3. ゼミ計画

ゼミ計画は概ね以下のとおりとするが、ゼミメンバーの問題意識や関心・興味等を見極めながら適宜見直しを図る。

〈前期〉	〈後期〉
1. ガイダンス（履修指導など）	1. ガイダンス（卒論完成に向けた計画作成など）
2. 卒業論文指導①（実際の卒業論文の紹介解説など）	2. 卒業論文の中間発表①（学生3－4名）
3. 卒業論文指導②（テーマの選び方など）	3. 卒業論文の中間発表②（学生3－4名）
4. 卒業論文指導③（構成の組み方など）	4. 卒業論文の中間発表③（学生3－4名）
5. 卒業論文指導④（参考文献の選び方など）	5. 卒業論文の中間発表④（学生3－4名）
6. 卒業論文指導⑤（図表などの表記のしかたなど）	6. 卒業論文の中間発表⑤（学生3－4名）
7. 卒業論文指導⑥（結論の導き方など）	7. 卒業論文の中間発表⑥（学生3－4名）
8. 卒論テーマの口頭発表①（学生3－4名）	8. プレゼンテーション方法の解説
9. 卒論テーマの口頭発表②（学生3－4名）	9. 卒業論文の最終発表①（学生3－4名）
10. 卒論テーマの口頭発表③（学生3－4名）	10. 卒論論文の最終発表②（学生3－4名）
11. 卒論テーマの口頭発表④（学生3－4名）	11. 卒業論文の最終発表③（学生3－4名）
12. 卒論テーマの口頭発表⑤（学生3－4名）	12. 卒業論文の最終発表④（学生3－4名）
13. 卒論テーマの口頭発表⑥（学生3－4名）	13. 卒業論文の最終発表⑤（学生3－4名）
14. 卒論テーマの口頭発表⑦（学生3－4名）	14. 卒業論文の最終発表⑥（学生3－4名）
15. 前期まとめ（後期に向けた学修計画作成など）	15. まとめ（卒業後の心構えなど）

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

①各自が取り組んでいる研究テーマに関する知識習得・分析考察の計画的な実施に加えて、②ゼミ時間における研究進捗の口頭発表、中間発表および最終発表に向けた準備を担当教員の指導に基づき適切に実施する。なお、①の実施には週2時間以上必要で、②の実施には、発表時への事前準備として3時間以上必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

研究進捗の口頭発表、中間発表および最終発表の際、個別に講評（不足している点や今後取組むべき点など）をコメントする。また、卒業論文を提出した後も、個別に講評（残された課題や今後進むべき方向性など）をコメントする。なお、コメントの通知方法については事前に連絡する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

論文の作成方法を習得し、自分の意見や考え方を卒業論文としてまとめる。

7. 成績評価の方法・基準

卒業論文の内容（60％）およびゼミに対する取組み姿勢（40％）。

8. テキスト・参考文献

各自の研究テーマに必要と思われる文献などを個別に指示する。

9. 受講上の留意事項

ゼミに積極的に参加していく姿勢が重要である。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは、金融機関およびコンサルティング業務における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。